

2007年度 第3四半期 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社
2008年2月8日



本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2007年度第3四半期（9ヶ月）連結業績 **FUJIFILM**

主要製品の販売数量増、為替影響及び構造改革効果により増益

(単位: 億円)

	2007年度 9ヶ月通算		2006年度 9ヶ月通算		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	21,374	100.0%	20,685	+689	+3.3
営業利益①	8.3%	1,780	8.0%	1,661	+119	+7.2
構造改革費用		-		446	-446	-
営業利益②	8.3%	1,780	5.9%	1,215	+565	+46.5
税引前利益	8.7%	1,855	5.4%	1,123	+732	+65.2
当期純利益	4.9%	1,039	2.3%	484	+555	+114.5
1株当たり当期純利益		203.80円		94.86円		+108.94円

為替:米ドル	117円	116円	+1円
ユーロ	163円	147円	+16円

■ 第3四半期において積極的に自己株式取得

	2007年10月	2007年11月	合計
取得株式数(千株)	2,700	4,000	6,700
買付価額(億円)	147	194	341

2007年度第3Q末
自己株保有比率

2.0%

■ 自己株取得と配当を合わせた株主還元性向は43%の見込み

配当額	中間(実績) 17.50円 (対前年5円増)
	年間(予定) 35円 (対前年10円増)

2007年度
株主還元性向

(配当額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益

43%
(見通し)

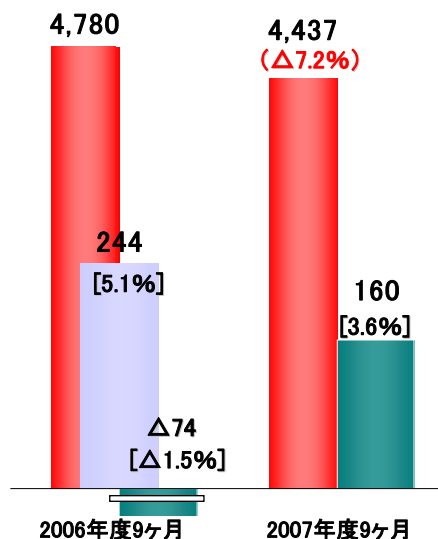
事業別セグメント情報 (9ヶ月)

■ イメージングソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益(構造改革費用抜き)
■ 営業利益

単位: 億円
□: 営業利益率
(): 前年比



売上高

4,437億円(前年比 7.2%減)

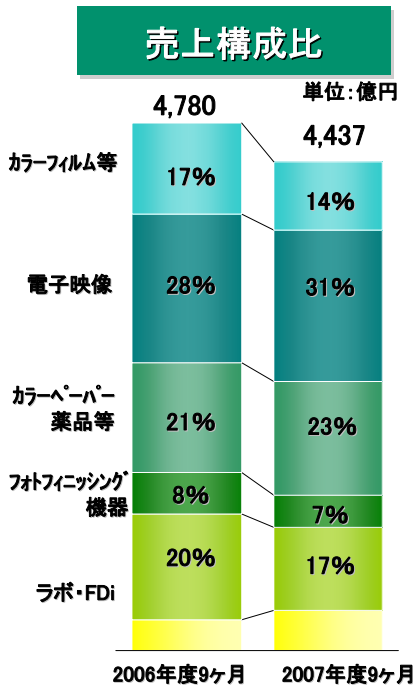
- カラーフィルムの市場が縮小する中、カラーペーパー等の売上増により小幅減収に留める。

営業利益

160億円(前年比 黒字化)
(構造改革費用を除く前年比 34.8%減)

- 銀価格の高止まりの影響を受けたものの、構造改革によるコスト改善効果及び円安効果により黒字化。

【事業別ハイライト】



カラーフィルム等

前年比: 24%減

- 市場縮小により売上は減少。当社市場シェアは上昇。

電子映像

前年比: 2%増

- 年末北米市場でサブプライム問題の影響が顕在化したが、市場は引き続き拡大。9ヶ月累計のデジタルカメラ販売数量は、ワールドワイドで前年比33%増の約670万台と計画達成。
- 新製品を積極的に拡販し、国内はFinePix「F50fd」「Z100fd」の販売が好調に推移。スタイリッシュ戦略モデル「Z10fd」がワールドワイドでヒット。
- 事業基盤強化に向けた構造改革(2007/9発表)は、計画通り推進中。

カラーペーパー・薬品等

前年比: 4%増

- お店プリントの増加等により売上増加。
- 三菱製紙㈱と写真印画紙の生産性向上を狙い提携を実施。

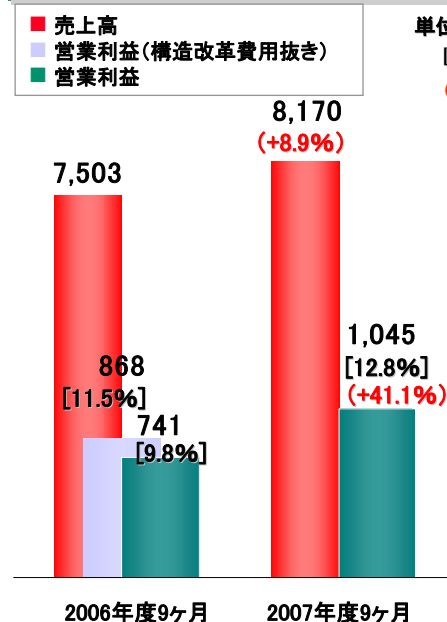
フォトフィニッシング機器

前年比: 23%減

- 大手取引先への導入が一巡したことによる販売減少が継続。

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益



売上高

8,170億円(前年比 8.9%増)

- メディカル機器/材料、フラットパネルディスプレイ材料、刷版材料、カメラ付き携帯電話用レンズユニットの売上増などにより増収。

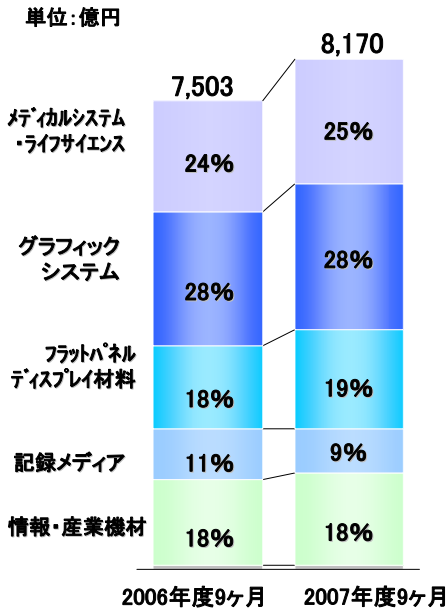
営業利益

1,045億円(前年比 41.1%増)
(構造改革費用を除く前年比 20.4%増)

- 主要製品の販売増が増益に貢献。
- 構造改革によるコスト改善、円安効果などにより大幅増益。

【事業別ハイライト】

売上構成比



医療システム・ライフサイエンス

前年比: 12%増

- FCR機器/材料、医療ネットワークシステムの販売が伸長。
- 2006年10月に連結子会社化した富士フイルムRIファーマ(株)の売上も寄与。

グラフィックシステム

前年比: 9%増

- BRICs諸国の需要拡大、GTP化進展により、刷版材料の販売が伸長。
- FUJIFILM Sericol社製UVインク対応業務用インクジェットプリンタービジネスが拡大。

フラットパネルディスプレイ材料

前年比: 19%増

- WVフィルム始め、VA、IPSモード向け高付加価値フィルムの販売が引き続き増加。
- 2007年8月の富士フイルム九州(株)第2工場7.5インチ製造ライン稼働に続き、新製造ラインが2008年1月に稼働開始。

記録メディア

前年比: 12%減

- ミッドレンジ系ではLTO Ultrium4を発売するなど販売数量を伸ばすものの、厳しい価格競争により、売上は低調に推移。

情報・産業機材

前年比: 8%増

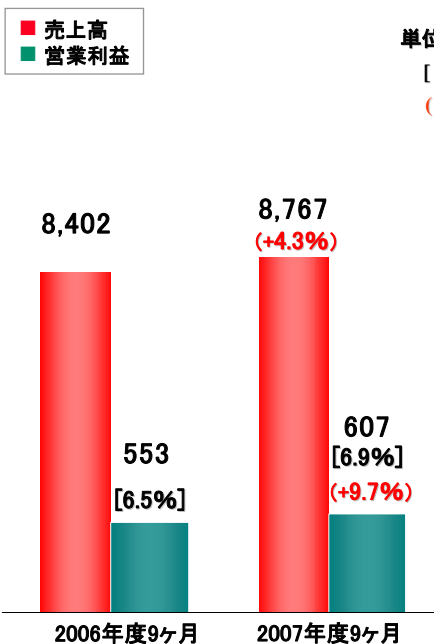
- 光学デバイス分野でカメラ付き携帯電話用レンズユニットの売上が大幅に拡大。
- アドバンスマーケティング事業の産業用インクジェットプリンター用ヘッド売上が順調に推移。

LTO Ultriumは、IBM社、Hewlett-Packard社、Quantum社の米国及びその他の国における登録商標です。6

事業別セグメント情報（9ヶ月）

■ ドキュメント ソリューション

売上高*・営業利益



売上高

8,767億円(前年比 4.3%増)

- カラーデジタル複合機やオンデマンド・パブリッシングシステムのアジア・中国地域での販売及び欧米向け輸出が好調に推移し増収。

営業利益

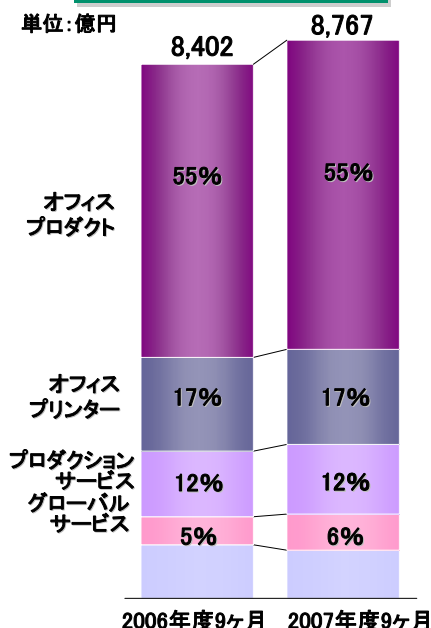
607億円(前年比 9.7%増)

- 成長領域であるアジア・中国における販売増に伴い「販売費・一般管理費」が増加したものの、オフィスプロダクト事業の売上増加による利益増等で増益。

*セグメント間取引消去後

【事業別ハイライト】

売上構成比



オフィスプロダクト 前年比: 5%増

- 国内販売は横這い。2007年11月末にLEDプリントヘッド方式を搭載したフルカラーデジタル複合機など全9機種を投入し、販売を強化。
- 欧米向け輸出、アジア・中国地域とも、カラー機の販売が大幅に増加。

オフィスプリンター 前年比: 1%増

- 国内の自社ブランド商品は、「DocuPrint C3050」を中心に、新商品「DocuPrint C2250」を加えカラー販売台数が増加。
- アジア・中国地域では、カラー機・モノクロ機ともに販売台数が増加。

プロダクションサービス 前年比: 7%増

- アジア・中国地域、欧米向け輸出ともに、パブリッシングシステムの販売台数が増加。
- ゼログラフィー方式で世界最高速のフルカラープリンター「490/980 Color Continuous Feed Printing Systems」を発売。

グローバルサービス 前年比: 23%増

- ドキュメントアウトソーシングビジネスが国内外ともに引き続き伸張。
- 内部統制アドバイザリセンターを開設し、内部統制対応を強化。

2007年度 業績見通し

為替レートを見直すものの、前回業績予想の通り、営業利益2,100億円をはじめ各利益とも過去最高益を達成する見込み

(単位: 億円)

	2007年度 予想 (2007.10.30発表)		2006年度 実績		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	28,500	100.0%	27,825	100.0%	+675	+2.4
営業利益①	2,100	7.4%	2,071	7.4%	+29	+1.4
構造改革費用	-	-	941	-	-941	-
営業利益②	2,100	7.4%	1,130	4.1%	+970	+85.7
税引前利益	2,100	7.4%	1,032	3.7%	+1,068	+103.4
当期純利益	1,200	4.2%	344	1.2%	+856	+248.4
為替: 米ドル	114円		117円		-3円	
ユーロ	159円		149円		+10円	

(参考) 前回予想との想定為替レート比較: (前回→今回)

第4Q 米ドル: 110円→105円 ユーロ: 150円→150円、年間 米ドル: 115円→114円、ユーロ: 156円→159円

2007年度第3四半期(3ヶ月)連結業績

(単位:億円)

	2007年度 第3四半期		2006年度 第3四半期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	7,293	100.0%	7,165	100.0%	+128	+1.8
営業利益①	693	9.5%	733	10.2%	-40	-5.4
構造改革費用	-		26		-26	-
営業利益②	693	9.5%	707	9.9%	-14	-1.9
税引前利益	707	9.7%	556	7.8%	+151	+27.1
当期純利益	392	5.4%	246	3.4%	+146	+59.3
1株当たり当期純利益	77.39円		48.17円		+29.22円	

為替:米ドル	113円	118円	-5円
ユーロ	164円	151円	+13円

10

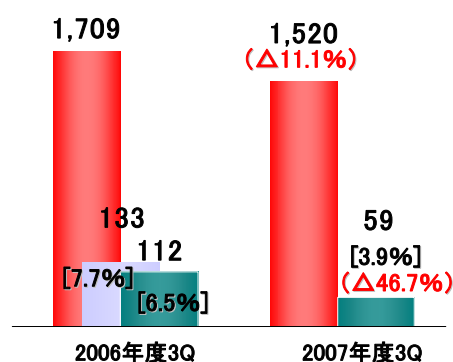
参考データ

イメージングソリューション(第3四半期)

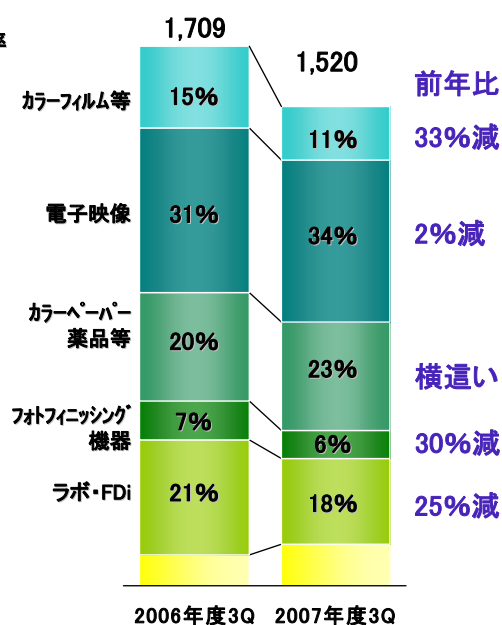
売上高*・営業利益

- 売上高
- 営業利益(構造改革費用抜き)
- 営業利益

単位:億円
 []:営業利益率
 ():前年比



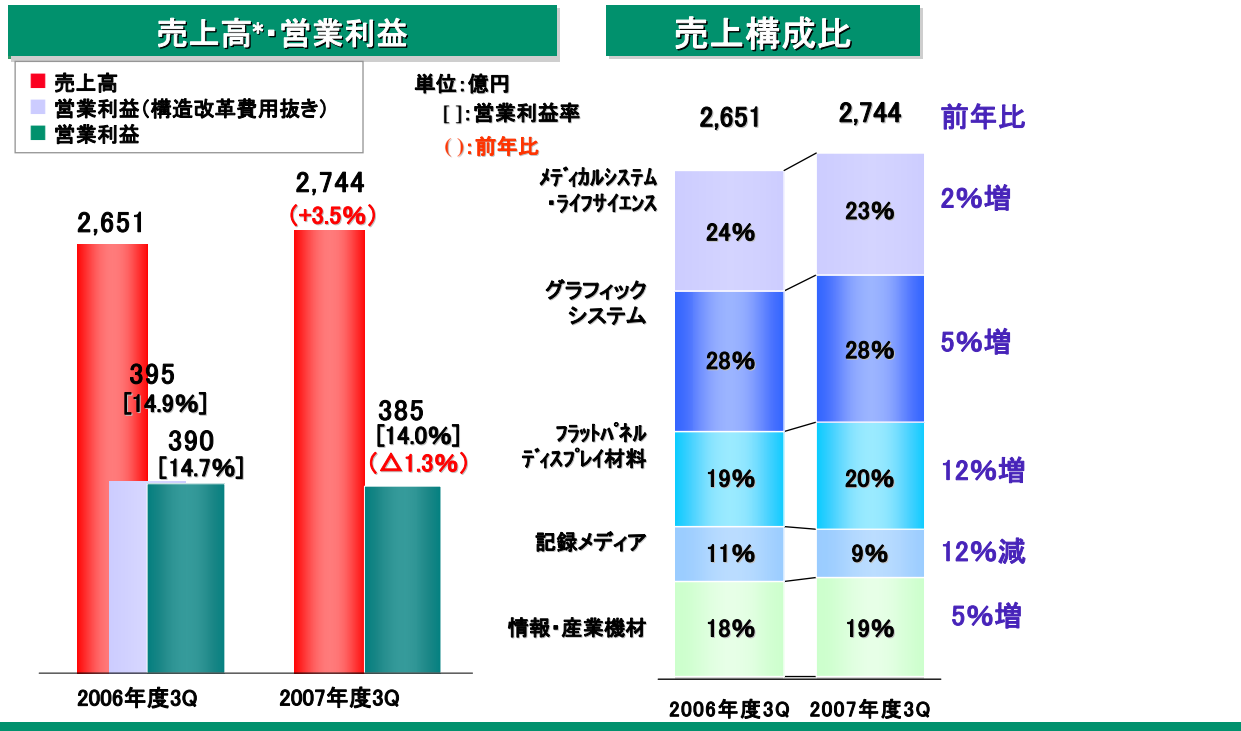
売上構成比



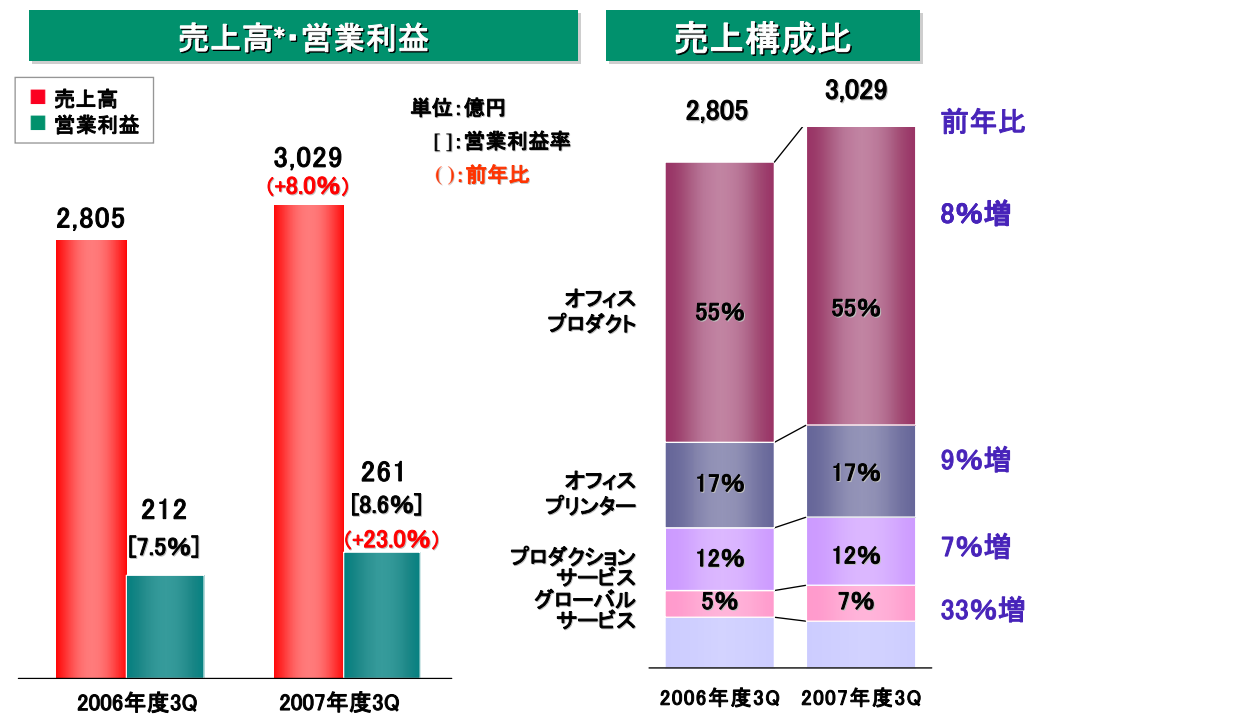
*セグメント間取引消去後

11

インフォメーション ソリューション (第3四半期)

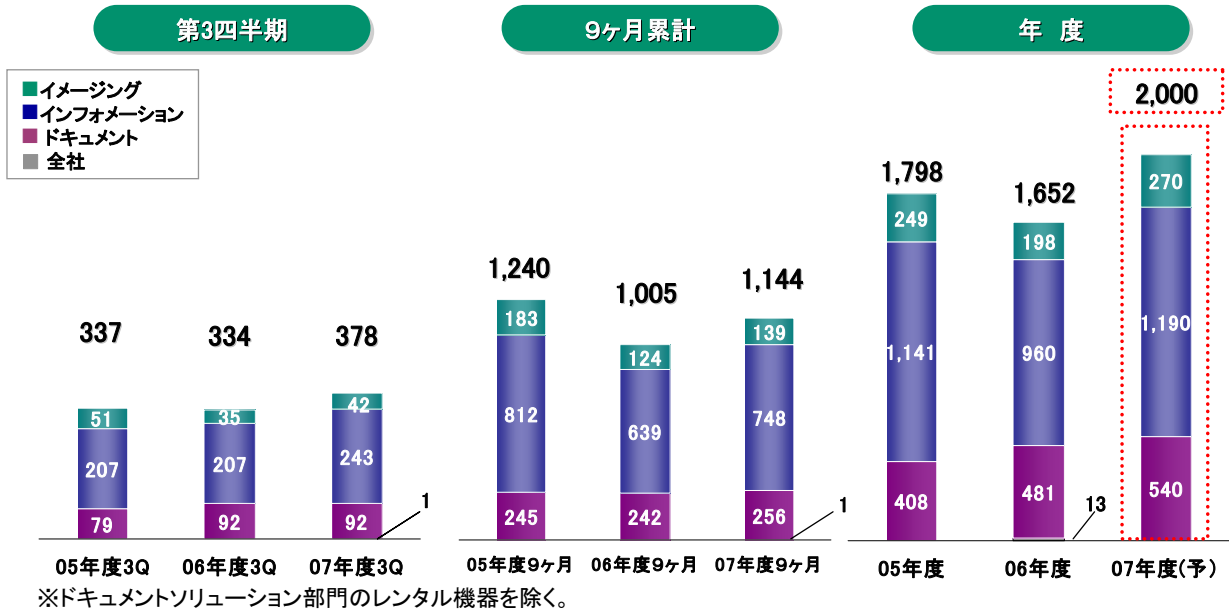


ドキュメント ソリューション (第3四半期)



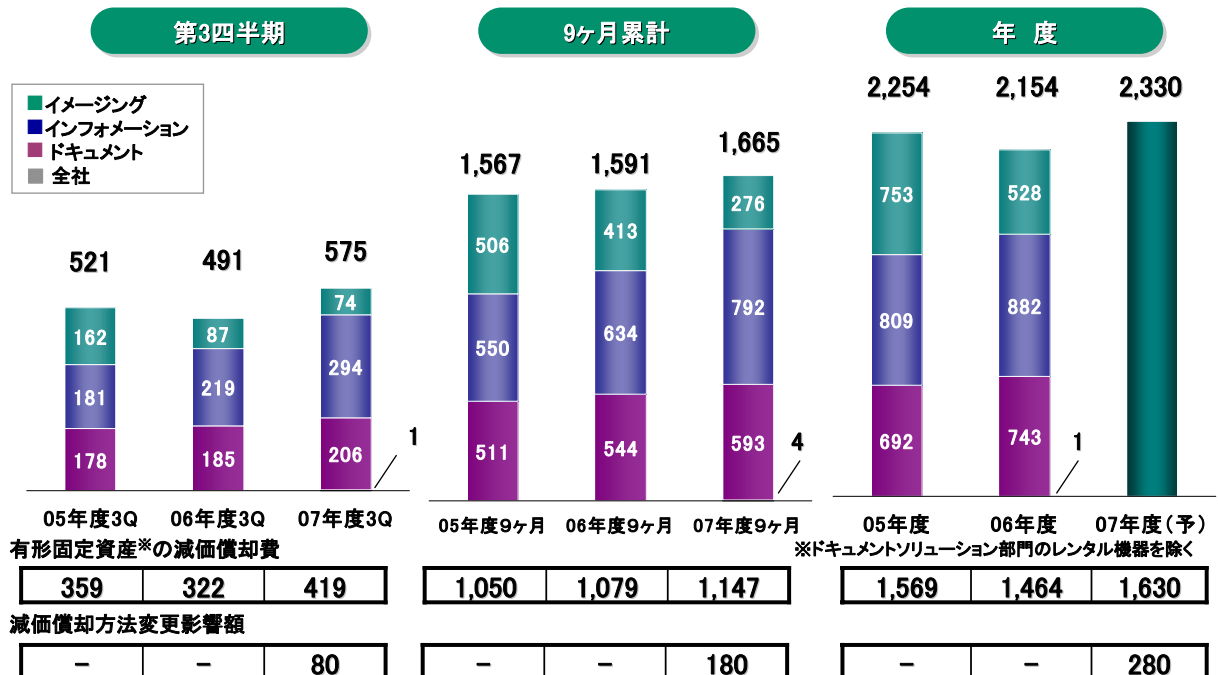
■ 有形固定資産の設備投資額※

(単位:億円)



■ 減価償却費

(単位:億円)



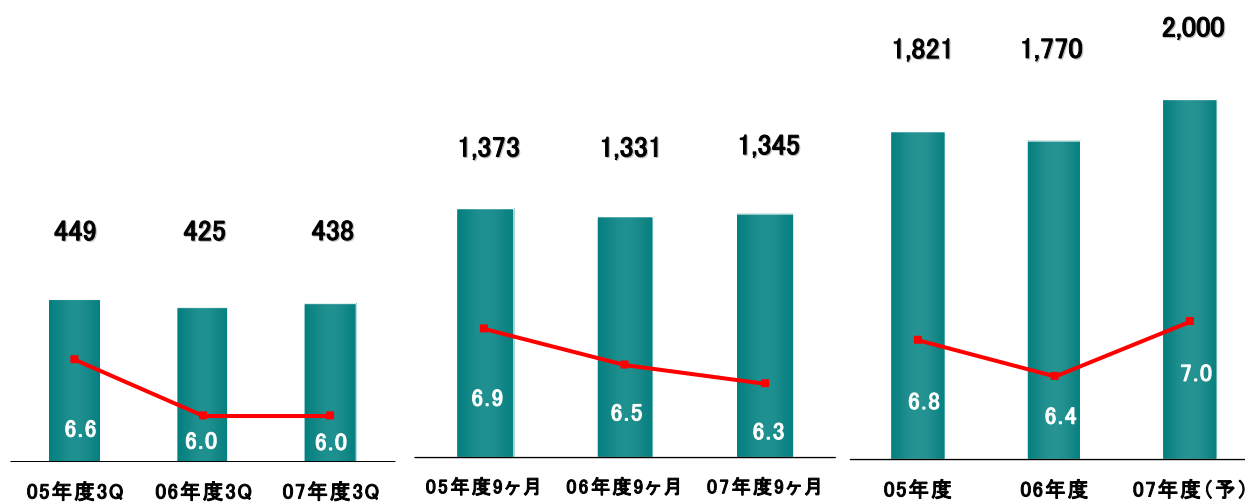
■ 研究開発費

(単位:億円)

第3四半期

9ヶ月累計

年度



—■— : 売上高に対する研究開発費の比率 (%)

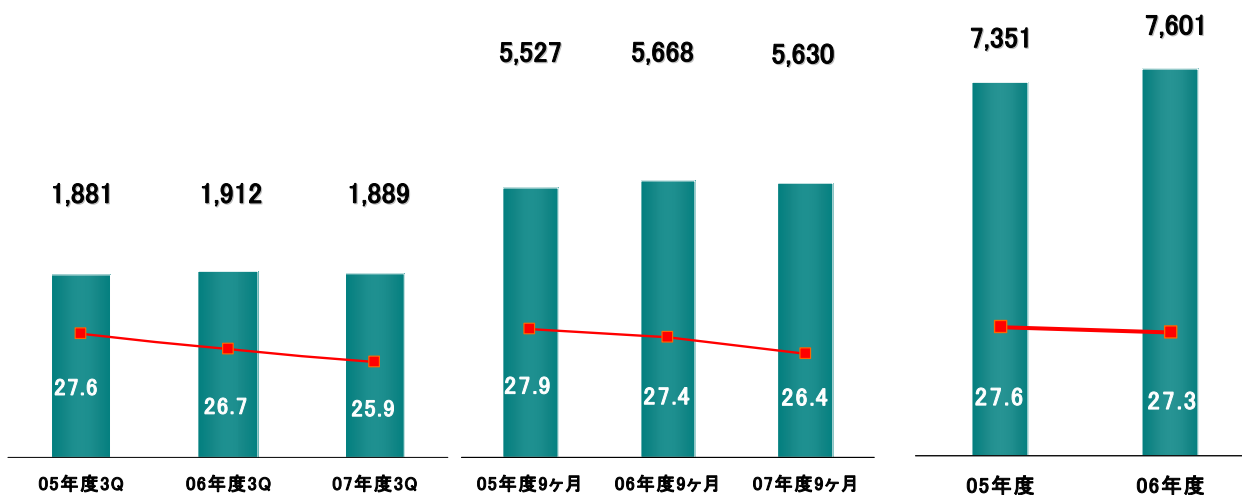
■ 販売費及び一般管理費

(単位:億円)

第3四半期

9ヶ月累計

年度



—■— : 売上高に対する販売費及び一般管理費の比率 (%)

■ 為替、人員

● 為替

(単位:円)

	2007年度						2006年度					
	9ヶ月				予想		9ヶ月					
	1Q	2Q	3Q		4Q 予想		1Q	2Q	3Q		4Q	
US\$	121	118	113	117	105	114	115	116	118	116	119	117
Euro	162	162	164	163	150	159	143	147	151	147	156	149

● 人員

(単位:名)

	2007.12末	2007.9末	2007.6末	2007.3末	2006.12末
連結	79,279	77,555	78,161	76,358	77,838



わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
 最高品質の商品やサービスを提供する事により、
 社会の文化・科学・技術・産業の発展、
 健康増進、環境保持に貢献し、
 人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>